

サービス

シンガポールM1、5G SA、AI、エッジコンピューティングにより、美術館での体験にインタラクティブ性と没入感を提供

M1と子会社のAsiaPacは、Keppel Data Centres Holding Pte Ltdと共同でシンガポール国立博物館とシンガポール子供博物館に5G SAによる通信とエッジコンピューティングを提供すると発表した。

M1は、超広帯域、低遅延により、博物館が、顧客とのエンゲージメントを高める、高度にパーソナライズした以下のような体験を提供できるようになっている。

- AR、VRの作品
- 3Dホログラフィックディスプレイ
- 4K超高精細リモートビデオツアー
- リアルタイムのオーディオビジュアル体験

本件は、シンガポール国立遺産局（NHB）が、シンガポール全土にある全ての国立博物館や文化遺産施設に5G技術を段階的に展開する取り組みの一環で実施される。



下線部分のリンクを開くと、外部サイトの出典、参考記事が表示されます

5Gスタンドアロン（SA）

台湾FET、ネットワークスライスを使用した5Gスマートパトカーソリューションを提供

Far EasTone TelecomとEricssonは、End to Endネットワークスライスを活用した5Gスマートパトカーソリューションを警察署に提供したと発表した。

用途

- 高精細カメラとAIを使用して、パトカーがナンバープレートから盗難届が出された車両を識別
- コンサートなど人が多く集まる場所での犯罪検知にも活用予定

活用技術

- AI、5Gコア・動的無線リソース分割を活用したRANを含むEnd to End5Gネットワークスライス技術、エッジコンピューティング用のローカルパケットゲートウェイ

提供価値

- ネットワークスライシングにより、混雑した公共エリアでも、**移動するパトカーから4K画像をリアルタイムで警察のコマンドセンターへ送信可能**
- データはエッジノードで保存・処理されるため安全性を確保

高雄市警察のために開発された本ソリューションは第一フェーズの完了に伴い、2022年末に稼働を開始した



Copyright(C) 2023 KDDI Research, Inc. All Rights Reserved.

独Telefonica、将来的にドイツの5Gコアネットワークをクラウドに移行予定と発表

同社は、5Gコアのクラウドへの移行に向け、Google Cloud、Ericssonとの提携を以下の通り発表した。

構成

- Ericssonのデュアルモード5Gコアを運用するデータセンターにGoogle Cloud Edgeを導入
- これにより、Google Cloudのインフラストラクチャとサービスを5Gコアネットワーク内でデータの生成・消費される場所の近くに配置

試験内容

- 5Gクラウドコアを使用して、ネットワークスライシング、リアルタイムアプリケーション、プライベート5G向けソリューションなどを試験し、本番運用に向け、パフォーマンスを最適化

特徴

- 厳格なデータ保護要件に準拠するため全クラウドデータセンターをドイツで運用し、GDPR（欧州一般データ保護規則）の適用を受けるなど、包括的なセキュリティフレームワークを使用

Telefonicaは、[2020年9月にAWSクラウド上に5Gコアを構築する概念実証を実施](#)。TelecomTVの取材に対し、同社は、[Microsoft Azureとも提携](#)しており、5Gのイノベーションを推進するために全てのハイパースケラーとのコラボレーションを継続すると述べている。

5G その他

豪Telstra、商用ネットワークで仮想無線アクセスネットワークを試験

TelstraとEricssonは、無線アクセスネットワークの仮想化と集中管理を可能とするvRAN（仮想無線アクセスネットワーク）を用いた5Gデータ通信に成功したと発表した。Ericssonは、クラウドネイティブなCU（集中ユニット）およびDU（分散ユニット）を提供した。従来ハードウェアとして設置されていたこれらのユニットを仮想化し、Telstraのデータセンターなどでホスティングすることで、Telstraはより効率的でコスト効率の高いネットワークが実現するとしている。

米Verizon、EricssonのvRANを展開したと発表

Verizonは、Ericssonが提供するvRANの展開を開始したと発表した。Verizonは、これまでに[SamsungのvRANを1万局以上展開](#)している。また、同社は**2025年末までにvRANを2万局展開する計画**。

韓SKT、MECと仮想化技術を用いた車両へのライブ放送伝送、位置情報ベースの広告表示に成功

米メディア大手Sinclair Broadcast Groupは、SKTなどと提携し、次世代放送規格ATSC 3.0による車載ビデオエンターテインメントの実用化に向けたデモを完了したと発表した。各社は、**ATSC 3.0を5Gと組み合わせることで、走行中の車両への安定した高精細映像のライブ伝送、特定地域を走行する車両への地域毎にカスタマイズしたインフォメーションの表示に成功した**。

デモは、SKTが開発したメディアエッジプラットフォームを用いて、ATSC 3.0規格*の標準電波を使い、Sinclairが運営するローカル放送システムWIAV-CDを通じて、走行中の車両と通信した。*米国の地上デジタルテレビ放送標準化団体ATSCが策定したUHD放送規格。SKTは、各業界に特化した5G MECサービスを開発しており、メディア業界向けの同プラットフォームでは、放送伝送システムの仮想化により、運用効率を向上させている。



車載端末への映像伝送の様子

6G

英国政府、5G、6Gの技術と通信セキュリティ研究開発促進に1億1000万ポンドを投入

英国政府は、5G、6Gネットワーク技術と通信セキュリティの研究開発を強化し、新たなビジネスに市場を開放するために1億1000万ポンドを投じると発表した。

- 2800万ポンドを英国トップ3の大学に割り当て。同大学は、Nokia、Ericsson、Samsungなどとの提携を通じて6Gネットワーク技術を開発する。また、ネットワーク内の全ての機器を単一サプライヤーから調達しなければならない現在の制約に終止符を打つことを目指す。
- 8000万ポンドを研究施設UK Telecoms Labの設立のために割り当て。同施設は、モバイル事業者、ベンダー、学者による、5Gおよび6Gのセキュリティ、耐障害性、パフォーマンスの研究・試験を支援する。

また、英国は、韓国との新たな研究開発パートナーシップも開始し、Open RANと関連技術の展開を加速させるために300万ポンド以上（英国から120万ポンド）を拠出する。このプロジェクトでは、Open RAN技術の普及を阻む障害の1つである、Open RANシステムの電力効率に焦点を当てる予定。